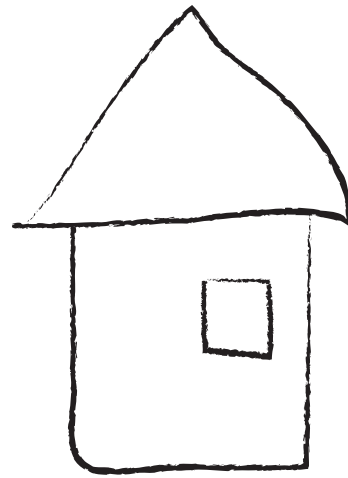
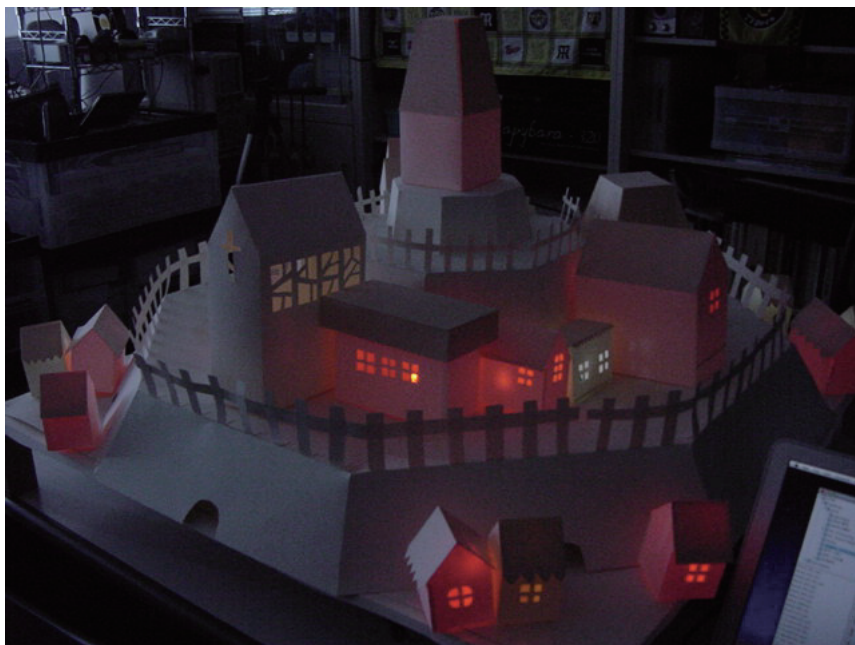




佐藤ゼミ 1022033 望月真美子

誰かを待つ街



作品の形態 ： インスタレーション

コンセプト ： 世界観を作る

使用素材・機器： 大量のワトソン紙
P C (マック)



舞台設定：太陽が死に、
朝を迎えることができなくなった世界。
人々は住む場所を追われ、
住み慣れた街を手放した。

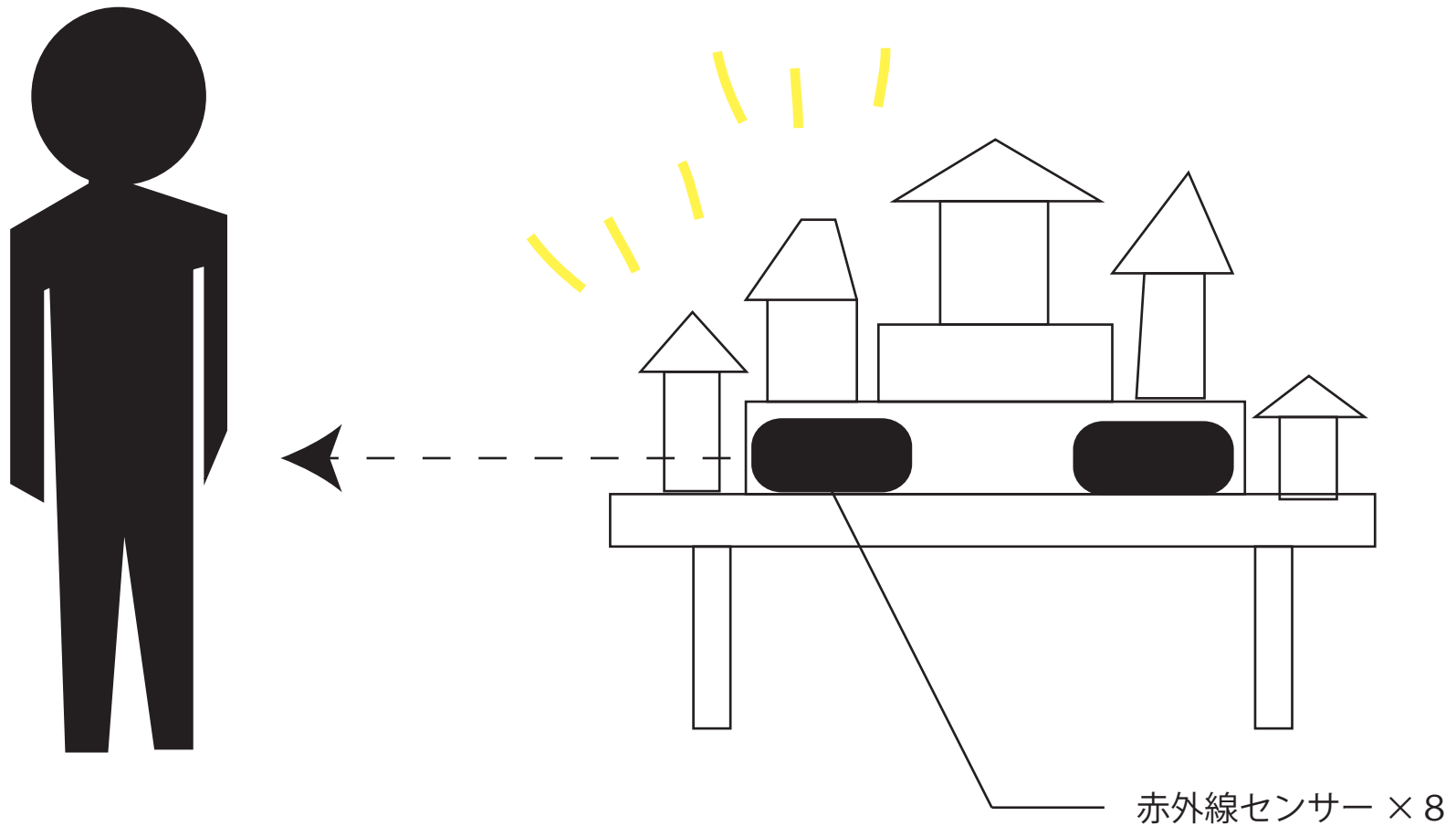
街は悲しくなった。

それ以来街は人の気配を感じ取り、
必死に自己の存在をアピールしている。
今日も街は、
誰かが帰ってくるのを信じて待っている。

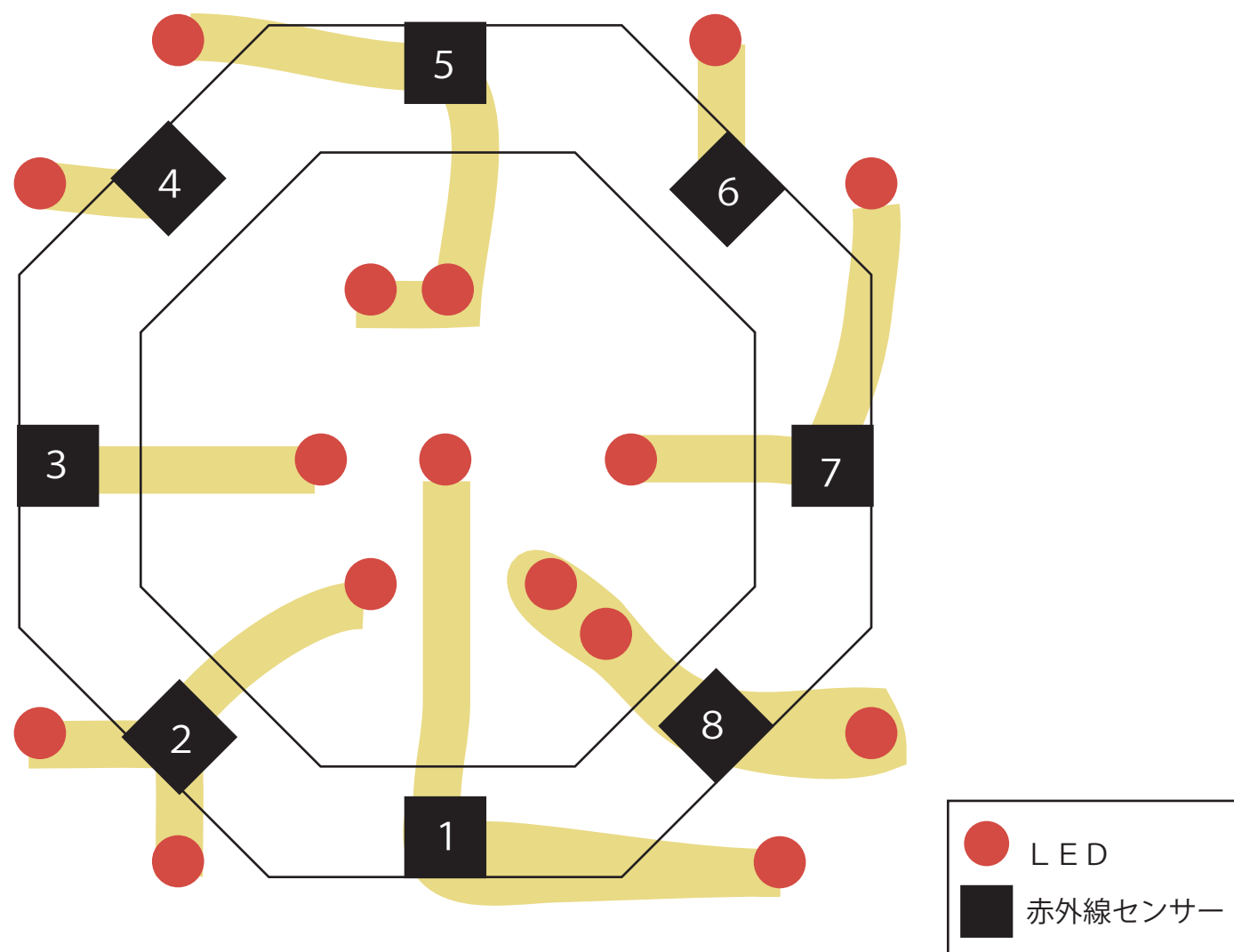
概要：街に近づくと赤外線センサーが反応し、街に明かりが灯る。

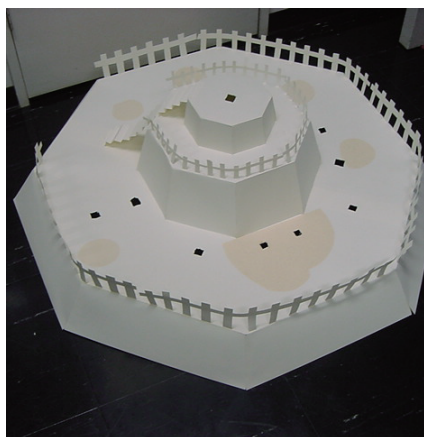
町全体に明かりを灯すためには、たくさんの人数で街を囲んであげてね。

あと距離が近いほうが街は張り切るよ！

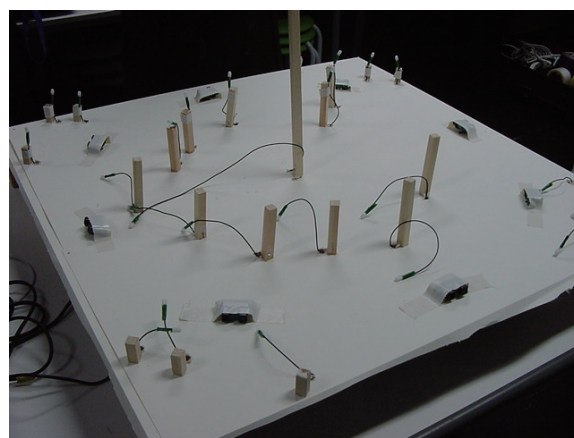
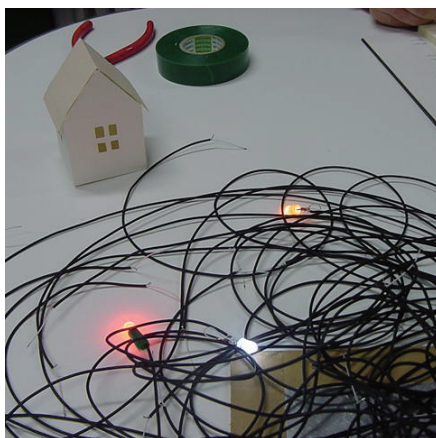


仕掛け



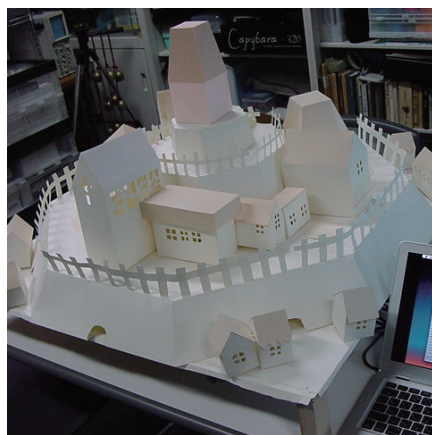
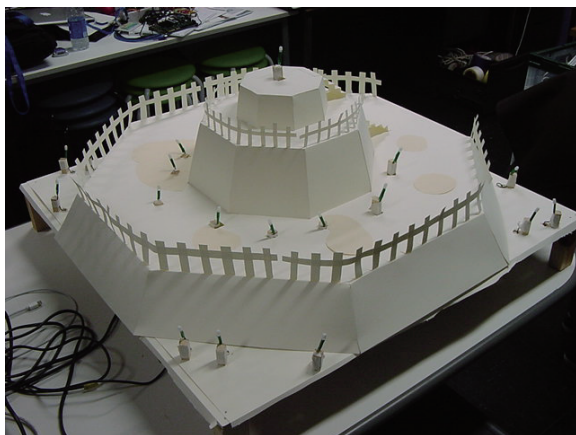


制作過程：まずはひたすら舞台の制作。
街全体のイメージとして、モンサン
ミッシェルやラピュタがあった。



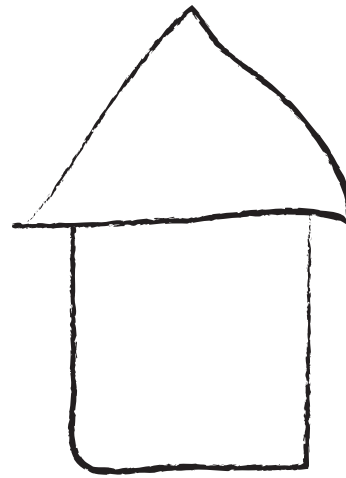
次に次の1～4を決めた。

- 1、各LEDの配色
- 2、1～8のセンサーに対応するLEDの割り振り
- 3、センサーが反応する距離
- 4、LEDの明るさの最大値と最低値



それに加え、LEDがセンサーからの信号に対し1秒遅れて反応するように設定。

すべてのセンサー、LEDを配置し
その上から家たちをポコポコのせ
舞台完成。



ご清聴ありがとうございました。